

今年度から子どもたちが企画・運営する「フレンドリー集会」第一回が開催

子どもが動く
子どもの心が動く加美っ子

挑戦と躍る
ある学校

第1回の内容

「明るい学校・暗い学校」
—チャイムが鳴り、子どもたちが入ってくる。明るい学校と暗い学校ってどこがちがうか話し合っている。

そこへ、「学校博士」が登場。だれも自分を知らないことにショックを受けつつ紙芝居プレゼンで説明してくれる。

それでは加美小ではどうだろうと加美小動画が流れるとそこは、あいさつもさわやかで、男女が仲良く遊ぶ明るさいっぱいの学校だった。—

6年生企画運営 1年生を迎える会

「これからはいっしょになかよくね」
「困ったときは助けるよ」
6年生の企画運営は、
とても楽しかった！

5月2日(火) 1年生を迎える会が行われました。6年生が企画運営し当日は、てきばきと先生達を頼らず進行しました。5年生が入場のアーチをもってお出迎えしました。1年生ひとりひとりが大きな声で自己紹介をしたり、学校クイズをしたり、久しぶりのじゃんけん列車をして、楽しいひとときになりました。「困ったときは助けます」と温かい声に1年生も嬉しそうでした。

タブレットを駆使し、演出まで！これには仰天！

4月25日(火)本校が行っている「ともだちの日」にあわせて今年から始まる「フレンドリー集会」が行われました。この集会は、子どもたちの企画運営と表現の場にもなっています。第1回は、6年生女子3名の企画に3名の男子の友情出演で、「加美小学校を明るい学校にしよう」と呼びかけました。シナリオもタブレットで作り、プレゼンソフトや動画撮影を駆使し、練習でも自分たちで演出まで手がけ、効果音を入れたりしながら表現力豊かに呼びかけました。たった1週間で準備をし、笑いもとる大人顔負けのパフォーマンスに、先生たちも仰天！

司会係の6年生も工夫をこらして楽しい会を演出。その後5年生が、「6年生みたいにできるようにになりたい」と全体の前で感想を言うと、次々の学年から同じ声があがりました。

新型コロナ対策が今日から変わり、インフルエンザと同じ5類になりました。
これまでのご協力心より感謝申し上げます。

5月8日より、新型コロナウイルス感染対策は、インフルエンザと同じ5類の対策になります。

これまで、厳しい予防対策にご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。また、子どもたちも人権を守りながら本当によく協力してくれました。朝、放送にて子どもたちにも感謝を伝えました。

しかしながら、今後も状況に注意を払いながら、気を緩めることなく子どもたちの健康管理をまいります。

ありがとうございました！



五月晴れ！5月2日(火) 念願の春の遠足復活！！



ボランティアの皆様！お世話になりました！



5月2日(火)1年生を迎える会の後、春の遠足がありました。加美小学校では、コロナ禍以前には、縦割り班で中央運動公園まで歩いていく遠足を長く続けていました。コロナ禍では、遠足が中止になったり、行き先を変更したりしていたので、本当に久々の中央運動公園への遠足となりました。

加美小学校前の陸橋のところから西の道に入り、住宅のある安全な道を抜けて運動公園まで行きます。途中には、各学年で考えたゲームをボランティアの皆様が楽しく実施してくださいました。暖かい日だったので、たくさん歩くのは大変でしたが、高学年がしっかりと低学年の手をつないだり、声をかけたりと励ましながら、無事運動公園につきました。楽しみにしていたお弁当を食べたり、新しい遊具で遊んだりみんな元気いっぱい過ごしました。